

様式2

八百津町告示第87号の2

パブリックコメントの回答について

住民の方から寄せられた意見の概要とそれに対する町の考え方及び最終案は下記のとおりです。

平成31年1月22日

八百津町長 金子 政則

- (1) 募集案件 八百津町水道ビジョンにかかる意見の募集について
- (2) 募集期間 平成30年12月10日～平成31年1月8日
- (3) 意見提出数 1件

意見の概要	意見に対する考え方
<p>予算と経費の関係については良く説明されておりますが、5年後に方針を決定する計画である選択肢としての民間への委託または活用については国会の質疑同様に八百津町の場合も多角的に十分な論議の上で決定して頂けるようお願いし、ご見解をお願いします。</p>	<p>現在、民間委託については、料金徴収業務のみであり、その他の業務はすべて当町職員が行っております。今後も公設公営を基本とし、事業運営を行いますが、人口減少に伴う給水収益の低迷や、水道施設の耐震化や老朽化対策への投資の増大など、水道事業を取り巻く環境が大きく変化していくことが予想されています。</p> <p>水道事業運営は、上記のような事業環境の変化に対応していくために、民間への委託または活用を含めた合理的かつ経済的な運営が求められています。</p> <p>以上のことから、施設の運転管理や設備の点検・補修などの日常業務における部分的な民間委託については、効果の是非を判断したうえで、有効かつ可能なものについては導入を検討していきます。</p>

<p>今回のビジョン解析では人口減少は従来解析のままです。今後、新丸山ダム建設による昼間の人口増が予想されます。その場合の解析がありません。従って再度、解析して開示することを望みます。ご回答をお願いします。</p>	<p>新丸山ダム本体工事が着手されると、工事関係者による昼間の人口増も想定されますが、工事の発注時期、工法それに伴う作業人員規模などが確定していないことから、現時点でダム工事による影響を考慮した解析を行うことは困難であり、人口予測は現状のままとさせていただきます。</p> <p>今後ダム工事にかかる作業人員規模などの見通しが分かりましたら、人口解析及び水需要に関して検討します。</p>
<p>水道事業自体は現在の住民の居住環境維持と相反する水道事業維持管理の容易さによるコンパクトタウン構想の選択もあろうかと思えます。町としてはコンパクトタウン化と水道事業維持について如何な見解をお持ちかご教示ください。</p>	<p>コンパクトタウン化は、住民の生活の利便性向上や市街地の活性化を図ることを目的としたものであり、現時点で、水道事業の維持管理を目的として、コンパクトタウン化を踏まえた施策を検討することは考えていません。</p> <p>今後、人口の動向、高齢化の状況、限界集落の実態などを考えたうえで、水道事業を維持していくことが困難であると判断された場合に、関連部局と連携して、コンパクトタウン化を踏まえた施策を検討します。</p>

(4) 最終案 別添